

御堂筋の会

Midosuji no kai

私たちは、ミナミ御堂筋の沿道企業体です。

定例会ニュース

(2021年8月)

「ミナミ御堂筋の会」は、ミナミの御堂筋沿道の不動産オーナーが連携し、「世界の御堂筋」をめざして、まちのあり方を提案し、実現に向けて働きかける団体です。

vol. 63

1. 一般社団法人 運営について (理事会開催の報告)

8月30日に第1回理事会を開催し、議事内容が全て承認されたことを、事務局より報告しました。

- ① 会員の承認について：継続意思確認ができた会員についての承認手続き（正会員16社、賛助会員8社、計24社）
- ② 事務局の設置について：定款に定める事務局の設置、事務局長（エリアマネージャー）及び事務局次長（エリアサブマネージャー）の承認
- ③ 顧問の設置について：定款に定める顧問について、引き続き嘉名光市先生に依頼することを承認
- ④ 部会の設置について：定款に定める部会の設置についての承認
- ⑤ 規程整備について：法人設立に伴い、必要となる内部規程についての承認

その他報告・議事録の作成、押印等の手続きについて、出席した代表理事及び監事は、議事録に署名又は記名押印を行う
・法人口座開設、司法書士事務所等による手続きの完了

2. 社会実験「御堂筋チャレンジ2021」について

(1) 企画案について

【社会実験概要】
「御堂筋チャレンジ2020」の内容を踏まえて、
■ 歩道拡幅整備後に指定された「歩行者利便増進道路（ほこみち）」の「特例区域」の追加指定やベンチ設置の検証
■ 沿道の適正化・維持管理活動・滞在空間の創出や道路協力団体としての実践
を官民連携で実施し、官民の役割分担のもと次年度以降の特例区域の利活用を将来にわたって継続していく仕組みを構築する社会実験。

実施時期：2021年11月頃の1ヶ月程度を予定
実施場所：御堂筋・道頓堀1丁目（道頓堀川）～難波5丁目（難波西口交差点）の沿道（約450m）
実施主体：ミナミ御堂筋の会（大阪市指定・道路協力団体）/ 大阪市建設局

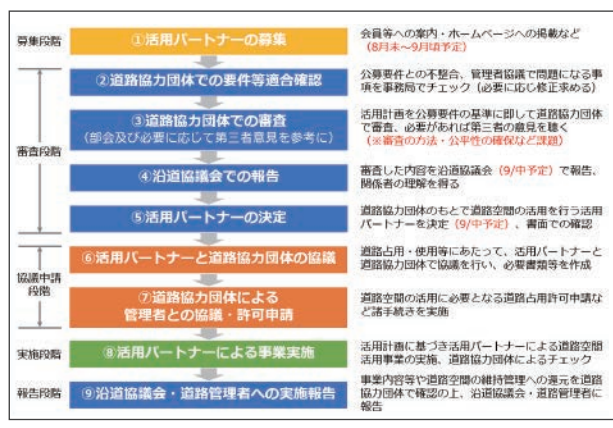
【進捗状況】
■ 御堂筋（ほこみち）エリア：次年度以降のほこみち本格利活用に向け、日常管理・利活用の形態や官民分担を確定させるための検証内容を調整中。「沿道コンテンツからの魅力創造実験」では、沿道利活用に関心のある会員等からの企画提案について、協議を進めている。
■ 御堂筋・駅前広場 + ミナミエリア：社会実験とあわせてデータを取得し、今後の整備や回遊促進に活用するための検証内容を調整中。



▲社会実験「御堂筋チャレンジ2021」企画（案）

(2) 道路空間活用のしくみ作りについて

今後の継続的な道路空間活用に向け、手続きフローや、活用にあたっての要件（協力金、活用パートナーの審査基準等）について、この社会実験をモデルケースに、整備することをめざす。（右下図）



▲活用パートナーによる道路空間の活用にあたっての手続きフロー（案）

3. 道路空間再編について

- 道頓堀橋南詰～千日前通区間
 - ・西側は、10月から側道閉鎖・工事開始予定。東側は、工事に遅れが発生しているものの、11月の社会実験までに完成予定。
- 道頓堀橋北詰～長堀通区間
 - ・基本線形案について、主に「交通・荷捌き」「自転車の通行・駐輪」「空間の利活用・質向上」の3点から議論を進めている。
 - ・御堂筋本線におけるタクシーの乗降については、停車帯の設置に向けて、市がタクシー業界等と協議を行っている。

4. 各種会合等 報告

前回定例会以降に参画した会合等について、事務局より報告しました。

■大阪エリアマネジメント活性化会議への参画(7/28) 出席：高橋代表理事、事務局(事務局次長 絹原)

当会議は、エリアマネジメント活動に取り組む民間団体と大阪市で設立された会で、実現性の高い仕組みづくりによる官民協働の都市経営の推進を目的としています。第11回の会議では、梅田・中之島・OBP等の各エリアマネジメント団体の共通テーマでもある「防災」について情報共有し、議論を深めました。改めて防災部会が開催される予定です。

■御堂筋協議会 作業部会 第2回 デジタルサイネージワーキンググループ(8/26) 出席：事務局(事務局長 中塚)

官民連携体制でデジタルサイネージについて検討を行う場として、2021年1月に第1回目が開催されました。設置や運用ルールをはじめ、エリアの回遊性創出や観光振興の在り方、活動財源等を議論しています。

第2回は、以下について議論しました。

- ① 観光案内板整備の基本的な考え方について
- ② 道路協力団体によるこれまでの社会実験と段階的な整備について
- ③ 公共サイン等デザインガイドラインの策定と、協議・審査の仕組みと体制
- ④ 地域貢献型観光案内板の整備スキーム・財源について

当会は、観光案内板等を活用した広告事業を実施し、放置自転車対策等の財源に充当、地域課題の解決を検討しています。事業性と、市の制度を重ね合わせながら、【御堂筋の「エリア価値の向上」に資する公共サイン】【現在地と目的地をつなぐだけでなく、「街を歩きたくなる」サイン】の設置に挑戦します。

提案 なんば広場～道頓堀区間での配置イメージ(案)

1. 広告付観光案内板(単独タイプ)
 - ・ 主な交差点周辺、目的地への経路上に配置
2. モビリティハブ+広告付観光案内板(モビリティハブタイプ)
 - ・ タクシー乗り場、シェアサイクル、シェアスクーター、休憩スペース等と広告付き観光案内板とを一体的に整備
3. 食事・販売施設+広告付観光案内板(オープンカフェタイプ)
 - ・ 沿道店舗が、オープンカフェ等で継続的に利用する施設と観光案内板とを一体的に整備

意見 ○案内板としてのサイネージと、広告付きサイネージをどのように位置づけていくか、工夫が必要だと考える。しっかりと情報を共有しながら検討を進めることが必要だ。(大日本印刷様)

5. その他 報告事項

(1)三津寺様 鎮壇法会

改築工事中の三津寺様で、8月29日に鎮壇法会が執り行われました。当会からは、高橋代表理事と事務局(事務局長 中塚、事務局次長 絹原)が出席しました。会場には、完成イメージ等が展示されており、ミナミ御堂筋の新たなランドマークとなることへ期待が一層高まりました。



▲三津寺様 鎮壇法会の様子

(2)万博インフラ整備計画について

8月27日、「2025年に開催される日本国際博覧会(大阪・関西万博)に関連するインフラ整備計画」が決定されました。整備計画では、御堂筋が「にぎわい・魅力の向上」として「道路空間再編・活性化」の事業と位置づけられています。国土交通省は「インフラ整備計画に基づき、開催後の大阪・関西の成長基盤となる交通インフラの機能強化や会場周辺のインフラの整備等を実施し、広域からのアクセス向上、地域の安全性向上や魅力の向上等を進めてまいります。」と発表しており、万博インフラの面からも御堂筋が注目される可能性が考えられます。

定例会 参加者 オンライン開催 (zoom)	【正会員】	湯川(三菱商事・ユービーエス・リアルティ(株))、高橋・福崎((株)スポーツカハシ)、藤本((株)播重)、池田((有)泉屋)、真鍋(平川商事(株))、奥谷(株)三栄建設、段・藤丸(光明興業(株))、吉田(株)ベルコ
	【賛助会員】	武村(コカ・コーラボトラーズジャパン(株))、磯野・杉山(大日本印刷(株))、安田(東京建物(株))、島田(東京建物不動産販売(株))、阿部(西尾レントオール(株))
	【オブザーバー】	門重・福地(ミナミまち育てネットワーク)
	【事務局】	中塚・絹原・竹林((株)地域計画建築研究所(アルパック))

次回定例会のお知らせ 2021年9月27日(月) 16:00～ オンライン開催
(社会実験「御堂筋チャレンジ2021」、道路空間再編について協議予定)